

月刊 MARUSHO

2019年 10月号

丸庄発、選りすぐりの情報をお届けします。



丸庄ブランドご存知ですか？

紙の可能性、無限大。
自社開発商品
丸庄ブランド
続々登場！

「名刀 紙切丸」の他にも「紙の可能性、無限大。」をテーマに自社開発製品として丸庄ブランドが弊社サイトで続々登場しております。今回はその中から2つをご紹介します。

宣伝マンの誕生！ お父さんへのプレゼントにも

ココロが伝わる手作りネクタイとして、紙でできたネクタイ「宣伝シタイ」です。イベントやキャンペーンの宣伝として、リーフレットをお配りしている方も多いと思います。そんなとき、自ら宣伝塔として期間限定の紙ネクタイでアピールするのはいかがでしょうか？

一見普通のネクタイに見えてしまう程のクオリティですので、紙のネクタイだと説明することで、相手の印象にも残ります。

また、伝わるネクタイシリーズは、ハサミやのりを使用せず組み立て可能なので、お子様でも安心。紙だから絵を描いたり、色を塗ったり世界でたった一つのお父さんへのプレゼント「おとうさんを笑顔にシタイ」も父の日、小さなお子様が集まるイベントのワークショップとして大変ご好評いただいております。



汚れてきたら掃除をしなくて捨てるだけ

三角コーナーのお掃除。めんどくさくて嫌ですね。そんな声にお応えて、紙製三角コーナー「使いすてコーナーポケット」を作成しました。三角コーナーとしていつも通りにネットを掛けて使用し、汚れてきたら畳んでポイッと

捨てられます。

もちろん紙製ですので、側面に広告もデザイン可能です。掃除の手間が省ける商品として、主婦の方が集まるイベントのノベルティグッズとしてお配りしてみたいはいかがでしょうか？姉妹品として、デスクの上の小物入れやゴミ箱として活用できる「デスクトップバスケット」もございます。



TASK 下町いいものじっくり雑貨展に出展しました。



9月20日(金)～21日(土)の2日間、JPタワー・KITTEにて「名刀 紙切丸」が下町いいものじっくり雑貨展に参加しました。初めて見る紙製のペーパーナイフに目を丸くして驚く方が多く見られ、大盛況に終わりました。

10月18日(金)～20日(日)までの3日間、「テクノプラザかつしか」にて「第35回葛飾産業フェア」に出展します。工業・商業・観光にまつわる技術力が詰まった商品が多数販売されますので、お近くの方はぜひご来場ください。





金 (GOLD) の豆知識

2020年、いよいよ東京でオリンピックが開催されます。オリンピックと言えば「金メダル」。日本は果たしていくつ獲得できるのか、今から期待が高まっています。今回は印刷における「金」についてまとめてみました。

黄金比ってどんな比率？

デザインでお馴染みの「黄金比」ルールを守ってデザインを行えば誰でもセンスのいいデザインに近づけることができます。逆に最低限のルールを無視するといくら工夫を凝らしても素人っぽさが抜けないということに。デザインを行う上で最低限知っておきたいものとして、黄金比というものがあります。近似値1:1.618、約5:8の安定的で美しい比率とされる貴金属比の一つです。

黄金比の歴史は黄金比を発見したのはエウドクソス（紀元前408年頃～紀元前355年頃）で、その後古代ギリシアの彫刻家であるペイディアス が初めてパルテノン神殿建設時に使ったと言われています。海外の建築物ではサグラダ・ファミリア、日本でも鹿苑寺金閣をはじめとした建築物に用いられた時代、国境を越え人々を魅了している比率です。黄金比を使った身近なものとしては名刺をはじめとした様々なカード類、郵便はがきを挙げることができます。

その他にもApple社のおなじみのリンゴマークも黄金比が使われていることで有名です。シンプルながら美しい印象を与えるのには安定した比率が用いられているからだと言えます。ちなみにAppleではiPhoneからMacBookの中身まで、様々なデザインが黄金比になっています。

この黄金比は自然界にも多く存在しており、松ぼっくりのかさ、花びらの数、葉の生え方においても黄金比を発見することができます。



特色の「金」の色には種類があります

特色で色を表現するとき、海外ではPANTONE社の作成したPANTONEでの指定が一般的となっていますが、日本ではDICグラフィック株式会社のDICカラーでの指定がかなり浸透しており、一般的となっています。デザインをされている方なら一度はDICの色見本帳を見たことがあるのではないのでしょうか。

さてDICの中で金色といっても、2種類存在しています。DIC619とDIC620です。少し赤みがかったのが「DIC619」で赤金と呼ばれる金色で、やや青みがかったのが「DIC620」の青金と呼ばれる金色となっています。同じ金色でもデザインや目的、使い方によって大きく印象を左右します。例えばより温かみを演出したいときはDIC619の赤金を、クールでスタイリッシュなテイストを求めている時はDIC620の青金を使用するといった具合に使い分けがされています。

金色のような特色は、他のインキを混ぜて表現することができないため、特色の中でも通常料金より高くなります。金の他にも、銀、白、パールなども含まれます。

金色を印刷したいという時は、主に黒や紺色など、元の紙色が濃いものに印刷する場合があります。明るい色の紙に金や銀を印刷すると、色味が沈んで黄土色やグレーのように見えてしまうためです。白い紙に金を印刷したい、という場合は金色を使用するよりも黄土色に近いDICカラー番号を指定するとコストを抑えることもできて、金色のように見えるという方法があります。詳しくは営業担当までご相談ください。



まるメルのパックナンバーはこちら ▶ [週刊marusho](#) [バックナンバー](#) [Q SEARCH](#)

展示会の定番アイテムと言えばコレ！ 手提げ袋PR

まるカタ Vol.8
P.47に掲載

会場はもちろん、その後もあなたに代わって
宣伝し続けてくれる定番の紙袋です。
普段使いもできる企業ロゴのシンプルなデザインが人気です。

今なら**10月中にご注文**いただいたお客様を対象に
デザイン制作からの場合は**表示価格より10%**
印刷のみの場合は**5%引き**致します。
お得にオリジナル手提げ袋が作れる大チャンスです！

詳しいご質問・お問い合わせは弊社営業担当まで。

Tel. 03-3881-2131 (代)

手提げ袋 PR

1,000部：
¥195,000

サイズ：W320×H400 マチ 115mm
仕様：全面 PP 加工 / コート 135kg ベース
片面カラー
最少ロット：500部
最短納期：約3週間

